



地域福祉計画づくり 三田の町ってどんなまち？

今、全国で「地域福祉計画」を作ろうとする取り組みが展開されています。

そして、「住民一人一人が生き生きと暮らせる社会を目指そう」という活動が盛んに行われています。

多摩区でも、多摩区社会福祉協議会が平成14、15年度を通して「地域福祉活動計画」を策定することになっています。この策定委員会では、あくまで住民主体の計画づくりを進めていこうとしています。具体的には、まず第一段階として地域のニーズや課題を把握するための懇談会、各団体へのヒアリ



2002年残暑
季刊 No.70

特定非営利活動法人 川崎市多摩区三田二丁目五丁目
〒214 0034 川崎市多摩区三田二丁目五丁目
TEL 044-931-2425 FAX 931-2424

ング、アンケート調査を実施することになっていきます。コスモスの家では、前号（初夏号5面）でも紹介しましたように、この計画に積極的に参加していくことになりました。コスモスの家では、三田町住民の方々のご協力を得て、これまで、自主的に地域調査活動を行い、3回にわたり地域調査（予備調査）の研究会を行ってきました。この調査で明らかになった三田地域の願いや要望を地域福祉計画に反映させたいと思っています。

これまでの活動として、まず5月に三田近隣を車椅子、バギー、松葉杖、杖などを使い、総勢12名で近隣を練り歩き、踏み切りや駅に行くまでの道、階段、スロープなど12箇所を調査しました。



三田のまなび、良いまちです

こうした調査をもとに、三田地域に関する簡単なアンケートを作成し、三田町の自治会、町会長、児童・民生委員の方々、老人会役員の方々や小・中学校の先生、保育士、商店街の方々等に120件配布いたしました。その結果、65%という高い回収率となりました。自由記述の部分でもたくさんのお意見が出ており、三田に住む方々の地域に対する関心がとても高いことが伺えま

した。

このアンケート結果をもとに、第一回の研究会を8月18日に開催し、そこでもいろいろな意見が出されました。第2回（8月25日）には大阪千代田短期大学教授の山本敏貢氏を講師として招き、アンケート結果についての具



体的な説明と地域住民の意見の交換を行いました。ここでもさまざまな意見が交わされ、自分たちの住んでいる「三田町」が今、どんな状況なのか、そして、よりよい町にしていくためには今後どのような取り組みを住民がしていくべきか、など活発な意見が出されました。

今回の調査はあくまでも予備として行いましたが、この調査結果をもとに、三田町独自の調査項目を作成していくという意味もあります。

アンケート結果

回答者の属性

三田在住

47.5%

20年以上在住者

66.6%

三田は住みやすいか？

住みやすい

61.4%

住みにくい

4%

交通の便は？

便利

64.9%

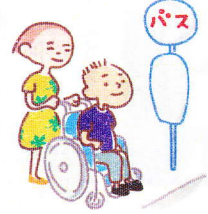
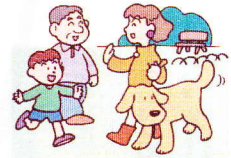
不便

26.3%



二面に続く

学校	便利 87.1%	不便 0.2%
幼稚園・保育園	便利 55.1%	不便 21.8%
高齢者・障害者施設	便利 29.5%	不便 21.8%
店舗	便利 29.5%	不便 21.8%
歩道・道路	便利 29.5%	不便 51.3%
整備されている	整備されていない 42.1%	0.3%
病院・医療施設	便利 38.4%	不便 43.6%
公園	便利 76.9%	不便 11.5%
安心して子供を遊ばせる場所	ある 62.9%	ない 12.9%
困りごとの相談相手は近くにいるか	いる 65.4%	いない 12.9%
相談相手は誰か	友人 70.6%	近所の人 31.4%
民生委員、区役所などの相談員、保健婦、福祉施設	41.2%	兄弟姉妹 27.5%
三田は子育てしやすいか	子育てしやすい 25.6%	親 23.5%
子育てしやすい	子育てしにくい 7.7%	
ゴミの処理のマナーは	きちっとしている 163.9%	きちっとしていない 1.7%



コスモスの家では、三田住民の皆さんが自分たちの住んでいる町をどのように評価され、改善していければよいかをお聴きするために、具体的な調査項目を作成し、モニター活動を展開し、三田地域独自の地域調査を行いたいと思っています。

具体的な内容としては、地域住民の基本的な人権を保障する行政のサービス基準、暮らしの問題を解決しようとする地域、家族の力、暮らしの基盤としての住民の仕事や収入、地域社会の様子を総合的に捉え、行政や社会福祉協議会、地域住民が今後取り組むべき課題を明らかにすることを目的として実施します。

人権と福祉のまちづくりをめざして



できています。三田住民の方の意識が非常に高いことに驚いています。」と話されていました。



この結果、相対的に三田町は住みよい地域という評価が高いということがわかりました。

講師の山本先生(写真上)も「質問事項に対して『はい』と『いいえ』『ある』『ない』の部分だけを答えるアンケートが多い中、自由記述の部分でたくさんの方の意見が出てきています。」



モニター活動に当たっては、多摩区三田小学校区内においてコスモスの家を事務局として町会長・民生・児童委員、自治会役員、住宅管理組合役員、老人会役員の方々と趣旨に賛同していただける方々にモニターをお願いし、モニター活動を展開していただき、その結果を基にして「三田小学校区地域福祉活動計画」をみなさんと策定する所存です。

「社会調査」という堅苦しいものではなく、モニターの方々と気軽に地域福祉の課題について話し合ってみるという感じで行えればと思っています。

コスモスの家では、「住み続けられる地域福祉をどう作っていくか」を常に考えてきました。

自分の住んでいるまちに誇りが持てるよう、そしていつまでも住み慣れた場所で安心して暮らせる人権と福祉のまちの実現を目指していきたいと思っています。

予備調査からモニター活動へ



実習生が来た!

8月15日(木) 16日(金) 19日(月)の3日間、法政大学学生の藤川浩幸さんがコスモスの家のデイサービスに実習に来ました。現代福祉学部と聞いていたのでどんな方なのだろうと来る前はいろいろ想像していましたが、明るいさわやかな好青年でした。

藤川君にコスモスの家の感想をお願いしましたら、用紙いっぱい書いてきてくれました。

藤川君の感想文

「毎週二回通つてます」「来るのがとても楽しみでです」「こんな意見がデイサービスセンターにとつては何よりの褒め言葉になるのではないのでしょうか。」

それはデイサービスの役割が、ただ「決まった時間の間、利用者さんが過ごすこと」だけではなく、外に出ることに多大な苦

労が伴うために、自宅に引きこもりがちになってしまってお年寄りにとっての会話その他、コミュニ



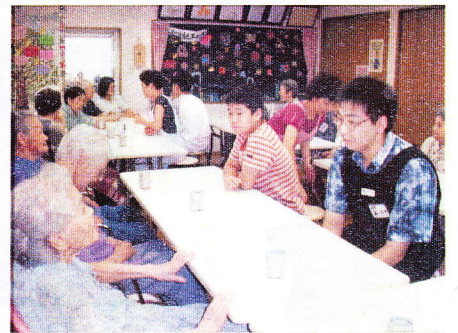
ケーションのための場としての役割、様々なレクを通して機能回復や維持を図る、そういった役割を過ごすことを社会的にも、そして利用者さん自体も求めているのだと思います。しかし一番重要なのは、そういった機能を内包しつつも、利用者

さんに「また来たい」「楽しかった」と思ってもらうことなのではないでしょうか。いかに優れた内容のレクのスケジュールを組んでも、いかに先進的な施設を整えていても、自主的に訪れるお年寄りがいなければそれらはみんな宝の持ち腐れ。特に従来の措置制度から、自己責任による選択へと移りつつある今の流れにあつてはその必要性は顕著なものになると思います。

さて、随分と堅苦しい前置きになってしまいました。そんなことを思うくらいに僕は「コスモスの家」でのボランティア参加のなかで「また来たい」と思える居心地の良さがここにはあるということを感じました。それは利用者さんに向けてだけのものではない。



ボランティア他、訪れる人全てに向けての「また来たい」オーラの無差別発散。日替わりの豊富でそして豪華な講師陣は、なるほどこれのおかげでしょう。程よい親近感を味わえる、そして全員を見渡せる位置に



座ることや、おはようの挨拶も歌にして楽しくという一工夫。そして、忘れてはいけない美味しいお昼ご飯の存在。それら全ての存在が、「コスモスの家」の「また来たい」の元になっているようです。もしもこの文章を読んで、まだ「コスモスの家」を訪れたことのない人がいるのならば、是非とも、この雰囲気や現場で味わっていたきたい。そしていつか、「コスモス音頭」がソラで歌えるようになったならば、貴方もきっと立派な「コスモス・リピーター」となっているでしょう。

法人3周年記念のつといと

秋まつりのお知らせ

暑さもだいぶ和らぎ、涼しい風を感じる季節となりました。日頃はコスモスの家に多大なるご協力とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

毎年恒例のコスモスの家秋祭りを今年は少し趣向を変えてNPO法人3周年を記念して一同に会し、次のように開催いたします。皆様ふるってご参加ください。

日時 平成4年10月1日(土)
場所 多摩市民館 3階 大会議室
受付開始 午前10時
秋祭り 午前10時30分～12時

★ 法人3周年記念のつといと

午後2時～4時

テーマ

「住み続けられる地域福祉をどう作っていくか
―地域調査の中間報告―」



有馬コスモスの家だより

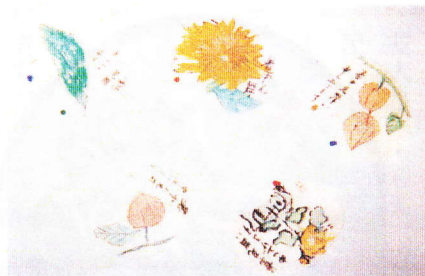
10万通日中絵手紙交流展に参加しました

平成14年4月よりカリキュラムに「絵手紙」を組み入れました。

はじめは賛否両論でありましたが、今では希望して参加される方も多くなりました。

徐々に自信もついてきたところでせっかくできた作品を宝の持ち腐れに終わらせるのは忍びないと思い、ぜひ交流展に参加しましょうとの呼びかけに皆さん賛同してくださいました。

この作品は2002年11月10日～16日まで中国蘇州図書館に、2003年春には長野県栄村で開催される日中合同絵手紙展に展示される予定です。



絵手紙作成風景

七夕まつり

今年も有馬小2年生と七夕交流会を実施しました。

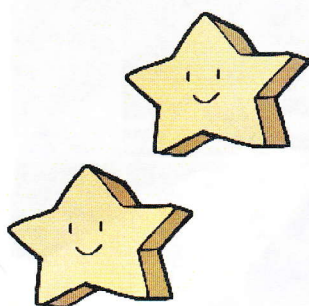
利用者の皆さんはとても楽しみにされて、

子供たちの訪問を今か今かと待っていてくれました。今年は元気いっぱいの子供たちと

雑誌「清流」の取材の方が来てくれました。

ライターの栗原道子さんの参加でさらに雰囲気盛り上がりしました。

この様子は「清流」10月号に掲載予定です。



宮前コスモスの家だより

ジャガイモの収穫

このところいろんな方のご紹介で新しい利用者の方が入ってくれださり、とても賑やかな家となっております。

とても暑い夏でしたが、みなさんお元気に過ごされました。今日は庭の隅に作っていたジャガイモの葉が黄色くなっていたのでヨーイショヨイショといつかんじで掘り起こしました。大小あわせて10kgくらいとれました。

これで来週のお昼の材料は安泰。肉じゃがにするか、それともおやつにじゃがバターにするか。ポテトサラダもいいですね。いろいろみなさん想像していました。夏の暑さにもめげないジャガイモの強さにあやかりたいですね。



宮前コスモスのお庭は花も実もある楽しいお庭です。